



- ◇ 発行：中国情報通信懇談会
- ◇ TEL:082-222-3324 FAX:082-502-8152
- ◇ E-mail: jimukyoku@cic-infonet.jp
- ◇ <http://www.cic-infonet.jp/>

＜＜中国情報通信懇談会／会員情報＞＞

防災・減災のための ICT 利活用と情報伝達を考える

＜広島市で「災害情報伝達に関するセミナー」を開催＞

中国総合通信局(局長:長塩 義樹)は、防災分野における ICT 利活用の推進と災害情報伝達に対する意識の向上を目的とした「災害情報伝達に関するセミナー ～災害情報、ICT で「伝える」から「伝わる」へ～」を広島市で開催します。

本セミナーは、記録的被害をもたらした平成 30 年 7 月豪雨災害の教訓を踏まえ、自治体が発表する避難情報等を多媒体により伝達する仕組み、ICT 利活用により住民が災害の切迫度や身の回りの危険度を適切に把握し避難の必要性を認識できる仕組み等について、先取的な取組を実施している国、自治体、民間企業等から事例紹介をしていただきます。

また、これらの横展開を促進するための個別相談会を開催します。

1 日時

令和元年 5 月 29 日(水) 13 時 30 分から 17 時 00 分(受付開始 12 時 30 分)

2 会場

TKP ガーデンシティ広島駅前大橋 3F ホール 3A(広島市南区京橋町 1-7 アスティ広島京橋ビルディング)

<https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/gc-hiroshima-ekimae-ohashi/>

3 主催等

主催:中国総合通信局、中国情報通信懇談会、中国地方非常通信協議会

協賛:情報通信月間推進協議会

4 内容

以下プログラムのとおり

5 機器展示

平成 30 年 7 月豪雨災害で実際に使用された「臨時災害放送局機器」をはじめ、企業等から防災減

災をテーマとした機器等の展示を行います。

6 対象

どなたでも参加できます。(定員 120 名、参加費無料)

7 参加申込方法等

(1) 申込方法

参加を希望される方は、以下のメールアドレスに、氏名、所属、部署・役職等、連絡先(電話番号、メールアドレス)を本文に記載の上、件名を「災害情報伝達に関するセミナー参加希望」として送信してください。先着順で受け付けます。定員に達し、参加をお断りするときはご連絡いたします。参加証等は発行いたしませんので、お申し込みされた方は直接ご来場ください。

(2) お問い合わせ先

中国総合通信局 防災対策推進室

電話:082-222-3398 FAX:082-221-0075

e-mail: chugoku-hijoukyou/atmark/soumu.go.jp

迷惑メール対策として「@」を「/atmark/」と表記しています。

※参加申込に際しお知らせいただいた個人情報につきましては、本セミナーの参加申込の確認や緊急の連絡以外には利用いたしません。本セミナー終了後は、速やかに処分いたします。

8 その他

本セミナーは、平成 31 年 1 月 17 日に広島市で、同年 2 月 4 日に岡山市でそれぞれ開催した「災害情報伝達に関するセミナー」の趣旨を継承するものです。

連絡先

防災対策推進室

電話 : 082-222-3371

「災害情報伝達に関するセミナー」プログラム

～災害情報、ICT で「伝える」から「伝わる」へ～

【開催場所】

TKP ガーデンシティ広島駅前大橋 3F ホール 3A

<所在地>広島市南区京橋町 1-7 アスティ広島京橋ビルディング <電話>082-909-2611

【プログラム】

《開催日：令和元年5月29日(水)》		
13:30～13:35	開会	総務省中国総合通信局長 長塩 義樹
13:35～14:15	基調講演 【40分】	「西日本豪雨災害と災害情報の伝達」 東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター長 教授 田中 淳 氏
14:15～14:45	講演1 【30分】	「坂町における災害対応と今後の復興計画について」(仮題) 広島県坂町長 吉田 隆行 氏
14:45～15:15	講演2 【30分】	「広島県における復興ビジョンと災害情報の伝達について」(仮題) 広島県 危機管理監 危機管理部長 尾崎 哲也 氏
休憩 【10分】		
15:25～15:45	講演3 【20分】	「中国地方整備局における災害対策について」(仮題) 中国地方整備局 河川部水災害予報センター長 後藤 誠志 氏
15:45～16:05	講演4 【20分】	「平成30年7月豪雨災害の特徴と危険度分布の利活用」 広島地方気象台 気象防災情報調整官 寺尾 克彦 氏
16:10～16:20	事例発表1 【10分】	「Yahoo!防災速報アプリの防災・減災への取り組みについて」 ヤフー株式会社
16:20～16:30	事例発表2 【10分】	「LINE の防災利用について」 LINE株式会社
16:30～16:40	事例発表3 【10分】	「ケーブルテレビを利活用した情報カメラ放送」 株式会社アイ・キャン
16:40～16:50	事例発表4 【10分】	「CMIDによる防災情報の一斉送信について」(仮題) 株式会社中国新聞社
16:50～17:00	事例発表5 【10分】	「土砂災害体験VRの開発 ～平成30年7月西日本豪雨災害から学ぶ～」 株式会社理経

【機器展示及び個別相談会】

- 12時から18時までセミナー会場内等において防災・減災をテーマとした機器等を展示
- 防災減災の課題解決を図るため、機器展示ブースにおいて事例発表者との個別相談会を実施